



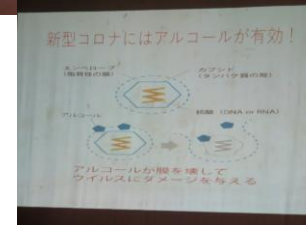
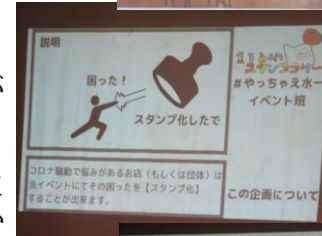
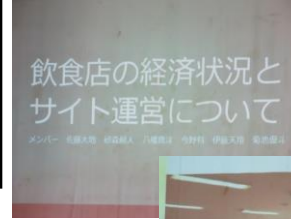
見分森

第591号

2020年
5月20日(水)

発行:学校法人協和学院 水沢第一高等学校 (文責:藤沢)

3年生制作プレゼンから



探究学習「地域のためにできること」

5月13日(水)午後、3年生全員を対象に、「総合的な探究の時間」の学習の一環としてこれまで取り組んできた「#やっちゃえ水一プロジェクト」のプレゼンテーションを3年1組と3組のメンバー10組が行いました。今回のプロジェクトは、コロナ禍の中で地域のためにできること等を考えたもの。「飲食店の経営を後押しできるサイト運営について」「学校で三密を防ぐためにはどのような方法が考えられるか」「今不足しているマスクや消毒液を作り提供するにはどうするのがよいか」「コロナの恐ろしさを子どもたちに伝えるのに有効な方法は…」等様々な観点のものでした。

当日は、(株)オガール専務取締役の岡崎希裕さんや水沢青年会議所理事長の浅利祐輔さん、江刺青年会議所理事長菅原正堯さんがアドバイザーとして同席してくださいました。発表後皆さんからは「デマの発信に対してどう対処するのか」「多くの人から依頼が来た場合、人手や時間等どのように対処するのか」「その事業にかかる費用を捻出するために考えられることとして…」と多角的な質問やアドバイス、時に「素晴らしい。」との評価をいただきました。

学校のソーシャルディスタンスの検証をし、その成果を発表した渡辺英美里さんは「制作当初は、休校を訴えることだけを考えていましたが、動画を制作しているうちに、休校をせずに感染やクラスターを防ぐことができるのでは、等考えの幅が広がってきました。水一を起点に、コロナに対する意識を高めていきたいです。」と話してくれました。



前期中間考査

休校等で授業時数が少なくなったため、6月25日(木)～6月30日(火)に日程を変更して実施する予定です。

《校訓》「神清智明(しんせいちみょう)」「松操竹節(しょうそうちくせつ)」「衆心成城(しゅうしんしろをなす)」

心は清く賢明で、確固たる信念を持ち、心を一につにすれば何事も成せる。

『教育の精神』 教えることは教えられることだ 育てることは育てられることだ

生徒と教師の間に この緊密な関係が成り立つとき はじめて「教育」というステージの 幕が開かれる 子どもから学びながら 父母や地域に支えられながら はじめて「学校」という豊かなドラマが 進行する

『教育目標』 人間の尊厳を自覚しそれを貫く人間 いかなる困難にもうちかかって、自主的に生きる人間 正しい知識と技術を身につけた人間に育てること

水沢第一高等学校の教育(共育)の考え方・土台は、この校訓と精神です。



行事予定

5月		
21	木	
22	金	T3からT1への歓迎お食事会
23	土	教員勤務日
24	日	
25	月	
26	火	1・2年模試振り返り会(午後)
27	水	生徒総会(6校時・放送)
28	木	
29	金	
30	土	教員勤務日
31	日	
6月		
1	月	衣替え 整容指導
2	火	読書週間
3	水	
4	木	歯科健診①
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	心臓検診(2次)
11	木	
12	金	尿検査
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	歯科健診② 職員会議 部活動停止
19	金	内科検診 漢字検定
20	土	
21	日	珠算・電卓実務検定
22	月	

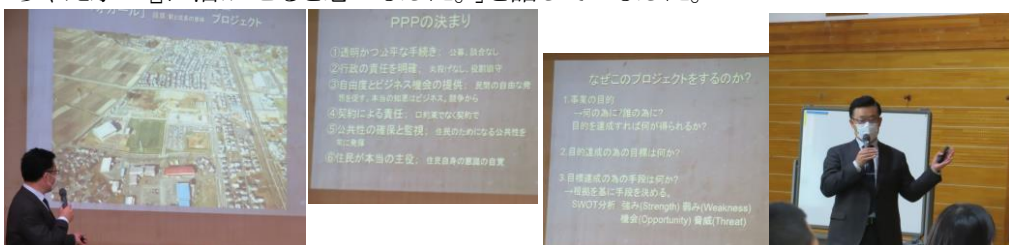
水沢第一高等学校<問い合わせ・連絡先>
☎0197-24-6171(事務室) ☎0197-24-6173(職員室)
Eメール: kyouwa@mizuichi.ed.jp

探究学習を深める講演会

5月13日(水)、3年生が「総合的な探究の時間」の学習の一環として、株式会社オガール専務取締役の岡崎希裕さんの講演を拝聴しました。

岡崎さんは、岩手県紫波町で行政と民間企業が連携し、地域経済を進行させて暮らしを豊かにしていくことを目的に、補助金に頼らない公民連携モデルの「オガールプロジェクト」を立ち上げて推進してきた方。自身の経験を紹介しながら、「自分たちが誇れるような街を作り、その街でみんなが活躍できるようにと考えてこれまでやってきた。」「プロジェクトは、何のため、誰のためにやるかという目的をはっきりとさせ、根拠をもとに手段を考えることが大切。」「あくまで主役は住民。」「感謝する気持ちをもって常にやってきた。」等々のお話をしてくださりました。

大畑葵さんは「今回岡崎さんの話を聴いて、あるものばかりを見るのではなく、見方や視野を広げて新しいことにチャレンジすることの大切さを学びました。また、物事に取り組むうえで必要なSWOT分析の方法を知り、今後の進路活動や『#やっちゃえ水一』に活かせると思いました。」と話していました。



進学・就職に分かれて勉強法等のガイダンス受講



5月13日(水) 9:50~3年生が進学希望者と就職希望者に分かれて、進路達成に向けた準備、心構え等についてのガイダンスを受けました。

進学希望者対象の講話の講師は、岩手県南振興局の浅水萌奈さんと吉田聡さん。勉強する時のポイントについてアドバイスを頂いたり、実際に国家公務員Ⅲ種の教養試験問題を解いてみたりしました。「勉強ができて人と一緒にやることができなければ駄目。一人親方というのもあるけど、チームで仕事をすることがほとんど…」というようなお話もいただきました。

受講した佐々木海空さんは「新聞を読んで社会の動きを知っておくのが良いと言っていましたので、新聞を読む習慣をつけようと思いました。また、職場ではコミュニケーション能力が必要だと言っていましたので、これからも多くの人と話をしてコミュニケーション力を高めようと思いました。」と話してくれました。

就職希望者対象の講話の講師は、岩手県南広域振興局の迫田淳子さんと進路指導部長の新沼先生。迫田さんは「この状況ではインターンシップができるかどうか難しいところですが、昨年度インターンシップ先でいろいろ質問をした生徒が、その会社から逆にオファをいただいたということもありました。大切なのは、発言力とメモ力です。」という話等をしてくださいました。

受講した今野裕登さんは「ガイダンスの話を聴いて、今後は時間を見つけて求人票や資料に目を通してメモを取ったり、多くの先生や講師の方々から話を聴いたりしながら取り組んでいきたいです。中途半端に行動するのではなく、今まで以上に準備からしっかりと取り組んでいきたいです。」と話してくれました。

COVID-19感染拡大リスク低減へのご協力に感謝致します。

「大切な人の命と安全を守る」観点で、マスク着用・「三密」(密閉・密集・密接)を避ける等の手立てを講じながら、4/13~16まで短縮時程、4/18~5/6まで休校、5/7~15まで分散登校と、本校では新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大リスク低減のためにさまざまな方策をとってまいりました。生徒の皆さんはもちろんのこと、ご家庭の皆様にも様々ご負担をおかけすることとなりました。この間のご理解とご協力に感謝申し上げます。また、先にお知らせいたしました通り、岩手県の感染者数0、東北内の新規感染者数0、全国的な感染者数の減少から、5/18~は当面短縮時程6時間授業にいたしました。今後も近隣の感染者数の状況により、時程等の変更を余儀なくされる可能性は残っております。引き続きのご協力を宜しく申し上げます。

また保護者アンケートへのご協力(5/22まで記入・提出)もお願いいたします。



命を守るために 原付バイク安全講習会

5月18日(月)、2・3年生のバイク通学者が第一自動車学校に行き、安全講習会を受けてきました。被害者にも加害者にもならないように、皆技術向上等に真剣に取り組んでいました。受講した八重樫修斗さんは「交通安全講習会に行き、更に交通ルールに対する意識が高まりました。今後の運転にしっかりと活かしていきたいです。教えて下さった自動車学校の先生方には感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。」と話してくれました。



教育相談日 基本毎月の第1週目は(水)、2週目以降は(火) が教育相談日となっており、スクールカウンセラーの高橋昇先生が教育相談室(保健室隣)にいらっやいます。

相談対応は 原則8:45~16:45までの1時間、予約制です。相談のご希望がある場合には、担任または養護教諭(及川志保先生)にお話してください。相談日時を調整のうえ、ご連絡いたします。生徒の皆さんはもちろん、保護者の方のみの相談も受け付けております。お気軽にご連絡ください。(在室予定日 5/26 6/3.9.16.23 7/2.8.14.21)